

令和6年度

歳入歳出決算の概要説明

公安委員会

公 安 委 員 会 委 員 長 挨 捗

公安委員会委員長の竹山でございます。

公安委員会を代表いたしまして、一言、御挨拶申し上げます。

委員の皆様方には、平素から、警察活動各般にわたり、御理解、御支援を賜っておりますことに、この場をお借りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、和歌山県警察では、「県民の期待と信頼に応える強さと優しさを兼ね備えた警察」を基本姿勢として、組織の総合力を結集し、県民の皆様が安心して暮らせる社会の実現を目指した諸対策を推進中であります。

公安委員会といたしましても、県警察を管理する立場から、県警察の各種施策やその推進状況、あるいは警察基盤の整備等について、積極的に意見し、議論を行っているところでございます。

本日は、令和6年度の警察関係予算の歳入・歳出決算につきまして、御審議いただきます。

何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

警 察 本 部 長 挨 捶

警察本部長の野本でございます。

それでは、審議に先立ち、現下の治安情勢について、本年1月から8月末までの数値を基に、簡単に御説明申し上げます。

まず、刑法犯認知件数は、2,527件で、昨年同期に比べ、151件減少しております。

検挙件数は1,672件で、検挙率は66.2%となっております。

県民が不安に感じる殺人、強盗、放火などの重要犯罪について見ると、認知件数は42件で、37件を検挙しております。

また、侵入盗や自動車盗などの重要窃盗犯について見ると、認知件数は186件で、他府県で認知した事件を含めた233件を検挙しております。

特殊詐欺については、認知件数が110件、被害総額は約7億4,000万円であり、非常に厳しい状況が続いております。

また、SNS型投資・ロマンス詐欺については、認知件数が77件、被害総額は約7億円であり、極めて深刻な状況です。

特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の検挙については、30件20人、また、口座譲渡等の特殊詐欺を助長する犯罪で33件23人を検挙しております。

県警察といったしましては、犯罪の発生状況を踏まえた効果

的な犯罪抑止対策の強化に努めるとともに、事件の早期検挙を図ってまいります。

また、特殊詐欺等の被害防止のため、金融機関、コンビニエンスストア等と連携した水際対策の強化や効果的な防犯指導・広報啓発に努めるとともに、上位被疑者検挙に向けた突き上げ捜査を推進してまいります。

次に、交通情勢について、御説明申し上げます。

人身交通事故の発生件数は821件で、昨年同期に比べ4件の減少となっている一方、死者数は22人で1人の増加、負傷者数も940人で2人の増加となっております。

本年の交通事故の特徴は、高齢者が関係する事故が、全事故の44.2%と依然として高く、全死者の68.2%を高齢者が占めています。

また、夜間の事故が大幅に増加しているほか、自転車や歩行者の関連する事故が増加するなど、厳しい状況が続いております。

県警察といたしましては、こうした交通事故の実態を踏まえた安全教育や広報啓発、指導取締り等諸対策の強化に努めるとともに、交通事故の増加が懸念される年末に向け、夕暮れ時及び夜間の街頭活動を一層強化してまいります。

以上が治安情勢の概要でございます。

委員各位におかれましては、日頃から警察行政各般にわたり、様々な御支援をいただいているところでございますが、治安情勢は依然として厳しい状況にありますので、引き続き、御理解、御支援を賜りますよう、改めてお願ひ申し上げます。

なお、令和6年度における決算概要及び主要施策の成果につきましては、会計課長から説明させます。御審議のほど、

よろしくお願い申し上げます。

会計課長概要説明

会計課長の山口でございます。

令和6年度の歳入歳出決算の概要につきまして、御説明申し上げます。

警察全体の歳入予算現額は、

11億3,381万1,000円

調定額は、11億805万5,146円

収入済額は、11億745万9,146円

収入未済額は、59万6,000円

であります。

収入未済額につきましては、放置違反金に係るものであります。

滞納者に対しては、電話や自宅訪問による催促業務を実施し、最終的には、銀行口座の差押え等の強制徴収も行っておりますが、生活困窮や、差し押さえるべき預貯金が無い者が多いこと等が、収入未済の主な要因となっております。

次に、警察全体の歳出予算現額は、

301億9,636万7,000円

支出済額は、292億8,664万8,310円

翌年度繰越額は、1億3,256万6,000円

不用途額は、7億7,715万2,690円

であります。

翌年度繰越額につきましては、2つの事業に係る経費について、それぞれ昨年度内での執行が困難となったものであります。

1つ目は、「警察学校庁舎新築事業」であります。

これは、警察学校庁舎新築に伴う造成工事に際しまして、

当初予定していた工法について耐久性に指摘があり、工法の変更及び設計の見直しを行ったことにより、契約時期に遅延が生じ、昨年度予定していた工事の一部が困難となったもので、その経費は、

8, 583万1千円

であります。

2つ目は、「交通安全施設整備事業」であります。

これは、和歌山市内の国道42号における交通信号機等の電線類地中化整備が、これに先立つ道路管理者の工事が遅延したことにより、昨年度内での完成が困難となったもので、その経費は、

4, 673万5千円

であります。

不用額につきましては、委託料、工事請負費等の執行残であります。

続きまして、「令和6年度主要施策の成果」に基づき、その中から主なものについて御説明申し上げます。

「令和6年度主要施策の成果」の118頁から119頁を御覧ください。

はじめに、Iの警察本部費関係です。1の「情報管理業務事業」として、業務の合理化・効率化を図るためのデジタルワークスタイル環境を整備するため、電子決裁・公文書管理システムを構築するとともに、場所を問わず各種警察活動を提供する柔軟な働き方を実現するため、VPNシステムを導入しました。

これらの事業に要した経費は、

6億4, 488万9千円

であります。

次に、Ⅱの警察施設費関係です。2の「大規模災害時における災害対処能力の強化事業」として、大規模災害により浸水被害が想定されている海南警察署において、代替指揮機能を有した災害拠点交番を新築するもので、2箇年事業の初年度の工事費として、

この事業に要した経費は、
3,966万6千円
であります。

次に、IVの警察活動費関係です。犯罪抑止総合対策の推進、悪質・重要な犯罪の徹底検挙のため、2の「一般犯罪捜査活動事業」、4の「生活安全活動事業」等を行い、県民生活を脅かす犯罪等の予防や被害防止に関する広報啓発活動、捜査活動及び犯罪鑑識活動等の充実、捜査力強化に必要な資機材の維持管理を図りました。

これらの事業の成果として、令和6年の刑法犯認知件数は前年より増加したものの、コロナ禍前の令和元年の水準を下回り、平成13年のピーク時の6分の1程度という低い水準に抑えることができました。

また、令和6年中の刑法犯検挙率は、全国平均を上回る64.7%であります。

これらの事業に要した経費は、
「一般犯罪捜査活動事業」が 5億7,719万1千円
「生活安全活動事業」が 6,886万5千円
であります。

次に、交通事故抑止総合対策の推進のため、6の「交通警察活動事業」、7の「交通安全施設整備事業」、8の「交通安全施設維持管理事業」等を行い、県民の交通安全意識を高めるための子供・高齢者を中心とした交通安全教育や広報啓発活動、道路交通の安全確保のための交通指導取締活動、交

通信号機等の新設・改良等の交通安全施設の整備・維持管理、
摩耗している横断歩道標示の補修を行いました。

これらの成果として、人身交通事故発生件数を23年連続して減少させることができました。

これらの事業に要した経費は、

「交通警察活動事業」が 2億6,250万2千円

「交通安全施設整備事業」が 6億4,491万4千円

「交通安全施設維持管理事業」が 4億5,322万7千円
であります。

次に、昨年6月1日、本県で開催された『第35回全国「みどりの愛護」のつどい』への御臨席及び地方事情御視察のため、11の「警衛警備事業」を行い、本県にお成りになった秋篠宮皇嗣同妃両殿下の警衛を行いました。

この成果として、両殿下の御身辺の安全を確保するとともに、歓送迎者の雑踏等による事故を防止することができました。

この事業に要した経費は、

5,337万3千円

であります。

次に、サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進のため、12の「総合的なサイバーセキュリティ対策の強化事業」等を行い、益々深刻化するサイバー空間の脅威に的確に対応するため、高度な知識を持った捜査員の育成と、高性能化・大容量化し続ける電子機器の解析に対応できる高度解析機器の維持管理を図りました。

この成果として、サイバー犯罪の検挙件数は、令和3年以降で最多となりました。

この事業に要した経費は、

8,942万1千円

であります。

以上で、令和6年度の警察本部関係の歳入歳出決算概要の説明を終わらせていただきます。

何とぞ、御審議のほど、よろしくお願いします。